



写真は完成まじかい幕別中央保育所

まくべつ

完成間近い

幕別中央保育所

昨年十月十六日から共済組合事務所跡地で新築工事を進めています。幕別中央保育所は最後の仕上げ

段階に入り、六月上旬には開所出

来るものとみられています。

新しい保育所は、ブロック造り

平屋建てで、総面積は六百三十八・

六七平方メートルあり、現在の保育所は

三百二十五・六一平方メートルですので

約倍近い広さとなっています。

内部は遊戯室のほか保育室三、

乳児室一、ホフク室一のほか調理

室、医務・事務室などから、なっ

ています。

また、子ども達の安全を第一に

考え、暖房は温風式を採用したほ

か、放送施設も備えており、ヤン

チャな良い子たちも、新しい保育

所の開所する日を、指折り数えて

待っております。

なお、札内地区に第二保育所を

新設するべく、現在、計画が進め

られています。

町民駐車場を利用ください

幕別市街大通り、農協前通り、駅前通り、それに道々幕別大樹線（踏切まで）の全面的な駐車禁止が予想されていますが、町では、これに備えて、次の五か所に町民駐車場を設けました。ご利用ください。

町民会館前、小尾商店裏の拓銀
飯店舗跡、駅前広場、田村鉄工
場前（寿町）、新田農林部と顕
勝寺の間（宝町）

報 告

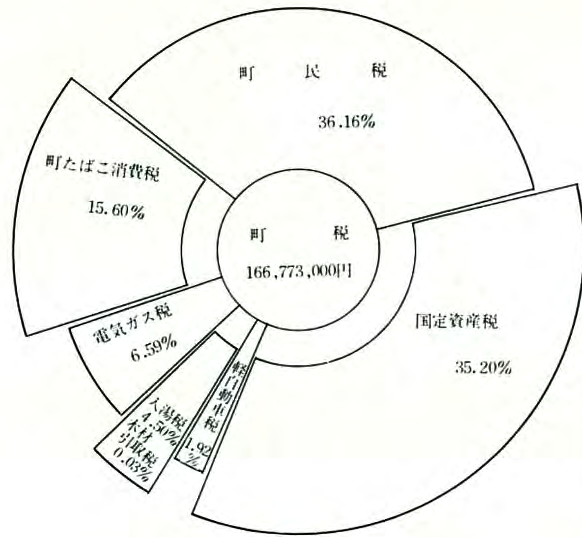
5 月号

昭和48年

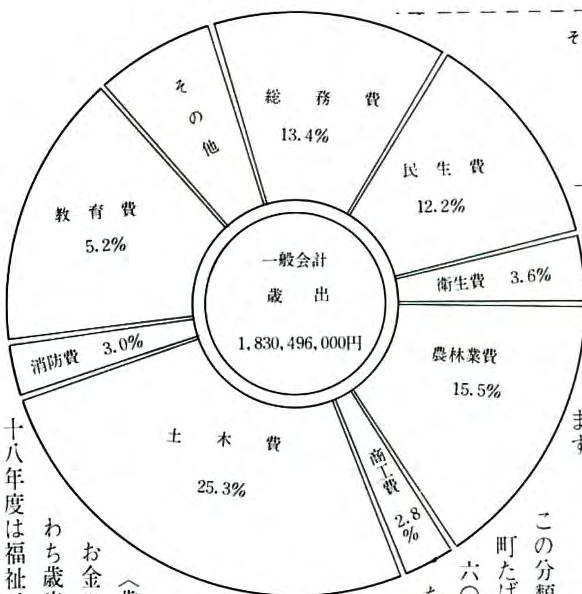
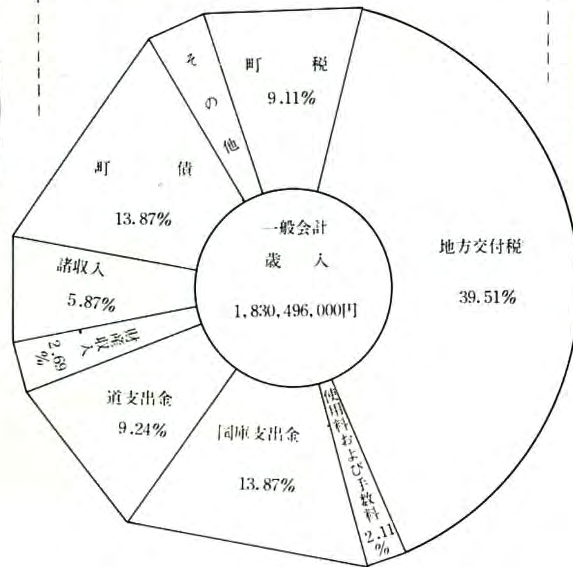
18億3049万6千円の仕事の内容

前月号の町長および教育委員長の行政方針説明でおわかりのように、一般会計十八億三千四百九十九万六千円、特別会計五億五千五百六十六万六千円、この合計二十三億

八千六百十六万二千円の予算で、昭和四十八年度の町政がスタートいたしました。昨年度の当初予算をみますと、



地方譲与税	0.98%	分担金及び負担金	0.76%
自動車取得税交付金	0.98%	寄付金	0.40%
交通安全対策特別交付金	0.05%	雑収入	0.55%
		雑越金	0.01%



議会費	1.6%
労働費	0.7%
災害復旧費	2.3%
公債償還費	4.2%
予備費	0.2%

のようにより、全体の三九・五一％が

大きな役割をはたす

町たばこ消費税

一般会計は十三億三千八百七十五万三千円、特別会計三億九千八百八十七万六千円、合計十七億三千六百九十九万九千円です。一般会計で三六・七％、特別会計は四一・八％、総体で三七・九％の伸びとなっております。

二十三億八千六百余万円という大型予算に、おどろかれる方もいることと思いますが、私たちの町

地方交付税で占められています。

この地方税、国庫支出金、道支出名義、町債を合計しますと七六・四九％に達し、一方、町民の皆さんから納めていただく町税は九・一％になっております。

この町税を更に分類しますと全体の三六・一六％が町民税、三五・二〇％が固定資産税となっております。

この分類図表をみますと、町たばこ消費税が二五・六〇％を占め、町政をすすめるうえで大きな役割をはたしている事が、おわかりになると思います。

福祉関係は大巾に増別

〈歳出〉

お金の使いみち、すなわち歳出ですが、昭和四十八年度は福祉元年と言われ、本

町でも福祉行政に力を入れ、図表でおわかりのように前年度の六・二%からみますと、かなりの伸び

をみせ、金額では約三倍の増加となつています。だが、本町で最も大きなお金を業費、総務費、民生費、教育費の

順となつています。なお、各項目別の主なものは次の通りとなっています。



総務費

- ▼町民の皆さんから出された緊急な問題を処理するため五十万円
- ▼二十八畝の地拵え、二十五畝の新植、下草刈、除伐、技打ちなど町有林造成事業に千五百九十二万四千円
- ▼総合計画書、開発計画PR誌印刷に十九万五千円
- ▼街路灯の電気料および修繕に三百五十二万八千円、白熱灯五十灯、水銀灯三十灯の新設、防護柵新設に百四十五万五千円



農林業費

- 交換分合分筆測量など委託費六十四万円
- 育成牧場哺育施設建設四十九万九千八百八十八円
- 牧場草地造成改良、牧道造成事業に千二百五十八万円
- 開発公社貸付雌牛百頭、町有肉用貸付雌牛十頭購入九百七十万円、乳用牛五十頭八十五万円
- 豊岡農道整備事業三千万円
- 相川農道整備事業千八百万円
- 日新農道整備事業に四百二十二万七千円
- 農免道路九百九十五万円

- 大豊地区開拓農道百五十万円
- 里山再開発事業に百五十万九千円

民生費



- ★敬老年金を八千円から一万円に引き上げて四百万円
- ★健康優良老人の表彰に十五万円
- ★老人クラブ楽しみ会に三十五万円
- ★老人医療費千八百六十万円
- ★ねたきり老人見舞金として一人一万二千円の三十六万円
- ★鉄筋造二階建千四百五十六平方坪の福祉センター新築八千一百一十九千円
- ★あかしや生活館増築に二百三十三万三千円
- ★災害見舞金として一人二万四千円の四十八万円
- ★重度身障児見舞金一人あたり二万四千円の十四万四千円
- ★札幌内墓地道路整備に五十万円
- ★母子健康センター衛生暖房施設工事に六百八十万円
- ★喫茶集積所整備に九十四万八千円

土木費

万円

▼あかしや西児童公園三百二十万
円

▼稲志別橋架換二千百万円
▼日新道路改良五千五百万

▼道路整備事業八千九百九十万五千円

円

▼日新線交通安全施設（歩道舗装）三百三十万円

あかしや団地幹線道路、春日団地幹線道路、幕別西一条西二条仲通り、幕別西一条通り、緑町団地幹線道路、幕別東二条及び北一丁目通り、幕別火防線道路、札内南三線道路、札内停車場道路、新田通り側溝整備事業、札内市街路整備事業

▼幕別札内線道路改良七百八十万円

▼札内北通り道路改良八百五十五万円

▼下水道基本計画設計委託四百八十万円

▼平和通り街路事業四千三百三十八万円

▼旭町団地十二戸、春日団地二十戸の公営住宅建設五千四百九十三万八千円



教育費

々舎等補修三百九十六万円
☆中学校々舎補修四百五十万円

☆学校運営費二百二十万円
☆町教育振興会百五十五万二千円

☆札内中学校統合校舎建築一億百七十八千円

☆教員住宅風呂場設置七十五万円、住宅補修百四十万円、高校住宅補修（共済住宅）十九万円

☆町営プール上屋工事八百三十二万四千円
☆町民スポーツ大会傷害見舞金三十万円

☆通学定期代二十八万九千円
☆へき地教員住宅建設（棟中）百九十二万円

☆小学校

☆小学校

消防費

■非常備消防費は前年度より二百四十五千円増の八百三十六万三千円

災害復旧費

■駒畠地区直轄明渠排水災害復旧工事など三千九百五十万円

■町道糠内古舞線道路災害復旧工事百七十七万円



万の事故に備えて

傷害保険に加入しましょう

交通事故は平和な家庭生活を、いつしゅんのうちに打ち壊してしまいます。万一の事故に備えて町民交通傷害保険に加入しましょう。保険料は月四十円で、六月に加入しますと年間四百円になり、支払われる保険金は、二千元から五十万円までの八段階にわかれています。

岩永翁の胸像を移転

旧役場庁舎前の岩永右八翁胸像を新庁舎に移転する工事が終り、去る四月二十六日に移転鎮座式：下の写真：を開催しました。

四月三十日現在で二千九百四十二名の方々が加入しております。加入希望者は役場町民課、支所、出張所に、おいでください。また

町長杯争奪将棋大会

第一回幕別町長杯争奪将棋大会が四月二十二日午前十時から町民会館で棋士四十名が参加して熱戦を展開しました。結果は次の通りです。

- A級 ①高橋弘司(初段帯広) ②森喜代一(二段更別) ③伊藤宣孝(二段帯広)
 - B級 ①仲上雄治(二級幕別) ②稲葉嘉一(三級幕別) ③佐藤健(二級幕別)
 - C級 ①小野伸一(六級帯広) ②佐々木和彦(七級帯広) ③大内田照男(七級幕別)
- なお、町長杯はA級一位に、町

長楯はB、C級の一位に贈られました。同好会では、会員を募っています。希望者は和田輝夫方(札内三四番地の一七)に連絡ください。

篤志寄付者のお名前

- ▽二万円 西川薫さん(楳内) お母さんの香典返しを廃して町社会福祉協議会に一万円、楳内老友会に一万円
- ▽千円 匿名の方より町交通安全協会に五百円、恵まれない子ども達にと五百円
- ▽一万円 菊地幸太郎さん(依田) 父が生前お世話になりました

皆様のご協力に深く

感謝いたします

皆様のご協力によって共同募金および歳末募金は、たいへん良い成績をあげることが出来ました。厚くお礼申しあげます。



- と札内寿会へ
- ▽三万円 矢野栄一さん(札内) 札内寿会に二万円、途別寿会に一万円
- ▽三万円 松浦繁子さん(稲志別) お父さんの供養のため札内寿会へ
- ▽二万円 出雲路昭さん(春日) 妻が生前お世話になりましたと札内地区の社会福祉に使ってほしいと指定寄付

昨年の実績は次表の通りで、何れも恵まれない方々に配分いたしました。感謝されましたことを、お知らせいたします。

公	区	共募実績	歳末実績	公	区	共募実績	歳末実績	公	区	共募実績	歳末実績		
本	町	1	23,500	5,700	相	川	6,800	3,200	依	田	21,850	14,000	
〃	〃	2	21,570	2,440	〃	東	1,800	1,700	〃	和	18,100	8,300	
〃	〃	3	60,700	4,700	〃	西	7,050	4,200	〃	北	5,700	3,500	
幸	旭	町	1	15,950	7,550	〃	南	21,000	4,300	〃	和	2,900	2,000
〃	〃	2	9,000	10,500	大	〃	北	6,000	3,800	〃	1	2,610	2,100
〃	〃	3	2,400		〃	豊	1	800	〃	2	3,700	1,000	
錦	〃	町	1	31,220	7,200	〃	2	1,200	〃	1	2,400	2,400	
〃	〃	2	41,100	8,600	〃	3	300	300	〃	2	21,500	9,500	
〃	〃	3	16,200	6,850	大	〃	8	2,200	〃	別	1,600	1,600	
〃	〃	1	4,300	2,000	〃	東	1	600	〃	舞	31,900	5,200	
〃	〃	2	4,320	3,700	〃	2	1,500	1,500	〃	地	7,800	6,100	
〃	〃	3	26,380	13,200	〃	豊	1	3,280	〃	晶	17,950	10,700	
宝	南	町	1	10,370	8,450	中	〃	2	1,500	〃	和	21,720	3,200
〃	〃	2	9,300	6,500	〃	稲	1	1,300	〃	街	2,200	1,700	
〃	〃	1	6,280	7,250	〃	志	1	7,100	〃	位	9,120	2,100	
〃	〃	2		13,000	中	〃	2	2,700	〃	1	2,700	2,000	
〃	〃	1	28,900	9,100	〃	住	1	14,600	〃	内	8,800	4,300	
〃	〃	2	800		〃	2	5,320	3,000	〃	倫	6,020	4,000	
〃	〃	3	7,500	5,000	〃	3	3,000	3,100	〃	川	7,900	4,400	
新	統	野	1	700	1,300	〃	共	5,300	〃	里	6,400	10,000	
〃	〃	2	7,100	3,300	〃	区	1	20,300	〃	西	5,050	4,600	
〃	〃	3	7,300	3,600	〃	1	22,160	22,160	〃	北	4,800	4,000	
新	軍	別	1	9,000	4,600	〃	2	14,250	〃	島			
〃	〃	2	3,100	3,400	〃	3	15,300	15,300	〃	計	883,020	604,250	
〃	〃	3	2,700	2,700	〃	北	1	27,500	〃	〃	150		
〃	〃	1	3,600	1,600	〃	2	2,200	2,200	〃	〃			
〃	〃	2	2,340	2,100	〃	3	12,130	10,700	〃	〃			
〃	〃	3	4,000	3,800	〃	日	32,700	12,400	〃	〃			
〃	〃	1	400	400	〃	あ	7,050	5,000	〃	〃			
〃	〃	2			〃	か	30,740	11,900	〃	〃			
〃	〃	3			〃	し	9,840	9,600	〃	〃			
〃	〃	1			〃	や			〃	〃			
〃	〃	2			〃	公			〃	〃			
〃	〃	3			〃	住			〃	〃			
〃	〃	1			〃	街			〃	〃			
〃	〃	2			〃	1			〃	〃			
〃	〃	3			〃	2			〃	〃			

事故ゼロの願い



交通安全町民の集いで挨拶する中
島町長と講演する吉田佐吉先生



入学式の席上、良い子の皆さんに交
通安全傷害保険証を贈るライオンズ・
クラブの皆さん（駒島小学校で）

平和な家庭生活を一瞬にして破
壊する交通事故は、いまや日常生
活の中で最も大きな不安事となっ
ています。

町および町交通安全協会では、
去る四月八日に各種の団体の後援
をうけて「交通安全町民の集い」
を町民会館で開催しました。

町民の集いは、中島町長、平井
交通安全協会長の挨拶があったの
ち、国立大雪青年の家所長、吉田
佐吉先生の「日常生活を考える」
と題した講演を聞きました。

吉田先生は、この講演の中で、
「戦後、自分の自由、権利のみを
ふりまわし他人の自由を、ないが
しろにした。これが今日の交通事
故の増加に結びついている」と語

り、幸せなことは第一に健康なこ
とである、と強調。午後は交通安
全作文の発表会を実施、このあと
優良運転者、作文、ポスター入選
者の表彰式をおこないました。

なお、四月には、町民の集いの
ほか、札内地区では車による交通
安全パレードを実施、また、町商
工青年会では保育所の良い子に交
通安全腕章を贈るなど、交通事故
ゼロの願いは、全町的に盛りあが
りをみせました。

盛りあがりを見せた

優良運転者の表彰風景



交通安全作文発表者の表彰風景



交通安全車輛パレードを実施する札内地区の皆さん

多くの良い子たちから寄せられたポスターの一部



火災予防に強い態度

不良施設名を公表

防災加工は六月末までに

高層ビルの建築、火災時における有毒ガスの発生、ガス、液体燃料などの使用で、いったん災害が発生した場合は極めて危険な状態になります。

自治省、消防庁では、昨年五月に発生した大阪千日ビル火災の惨事を二度とくり返さないため、防火対象施設を指定、これら対象施設の消防用設備状況を調査し、優良施設にはラベルを貼り、不良施設

設には消防機関より改善命令を出し、それでも改善しない施設名と欠陥の内容を、報道機関や広報紙に公表することになりました。

防火対象施設は次の通りです。

- 公会堂、待合、料理店等、飲食店等、遊び場、マーケット、店舗等、旅館、ホテル、病院等

また、カーテン、どん帖、シート、展示用合板等の防災加工につ

駅の構内を通らぬよう ご協力願います

駅構内の通行自粛につきましては常日頃からご理解をいただいておりますが、最近、構内の線路横断通行が増え、非常に危険な状態を、しばしば日撃しております。

中には跨線橋を渡らずホームから飛び降り、線路を横断しようとして、あわや一命を失う寸前に救われた方、また、三番線から発車しようとしている貨物列車の下をくぐり抜け、あぶなく轢れそうになった方などの例もあります。

最近では駅に停車しないで八十

いても、来る七月一日より完全実施となり、六月三十日までに防災加工をしなければならなくなりしました。

防災加工の方法は、クリーニングの際に加工するなど、いろいろな方法がありますが、再三にわたって改善しない時は、営業停止の処分が、なされることになっておりますので、ご注意ください。

なお、くわしい内容は消防署予防係に、おたずねください。防災加工を必要とする対象施設は次の通りです。

- 公会堂、遊び場、待合、料理店等、飲食店等、マーケット、店舗等、旅館、ホテル、病院等、幼稚園等



市内通話 3分ごとに7円

25日から広域時分制

今までの通話料金は、通話時間の長さに関係なく一回七円の市内通話と、通話時間の長さや距離に応じて料金がふえていく市外通話にわかれていましたが、日本電信

電話公社では、広がる生活圏と経済圏にマッチした新しい通話料金制度である広域時分制を五月二十五日から採用、市内通話、すなわち幕別局加入者相互間の通話も三分ごとに七円きざみで増えることになりました。

統計によりまずと市内通話の平均時間は二分足らずと言われています。思わぬ長電話で家庭経済に大きな影響を与えないよう、通話料金は要領よく三分以内にとめるようにしましょう。

通話料金表は次の通りです。

区分	通話区別	新しい通話料金	いままでの通話料金
帯広単位料金 金区域内の 通話	帯広局加入者相互間の通話 芽室局加入者相互間の通話 幕別局加入者相互間の通話 音更局加入者相互間の通話 十勝川温泉局加入者相互間の通話 札内局加入者相互間の通話	(区域内通話) 加入電話～3分までごとに7円 公衆電話～3分までごとに10円	(市内通話) 加入電話～1回ごとに7円 公衆電話～3分まで10円
	帯広・芽室・幕別・音更・十勝川温泉・札内の各局相互間の通話	(3分継続制) ※小形赤電話からの、従来の	(準市内通話) 加入電話～80秒までごとに7円 公衆電話～80秒までごとに10円
	帯広・芽室・幕別・音更・十勝川温泉・札内の各局から 大正・万年・糠内・美生・中札内 更別・駒場・上更別・上美生の各局への通話	市内通話はこれまでどおり 3分打切り。	
隣接単位料金 金区域内への 通話	帯広・芽室・幕別・音更・十勝川温泉・札内の各局から 十勝清水・上士幌・十勝池田・広尾・静内・門別富川の隣接単位料金区域内各局への通話	(隣接区域内通話) 加入電話～80秒までごとに7円 公衆電話～80秒までごとに10円	(近郊通話) 加入電話～60秒までごとに7円 公衆電話～60秒までごとに10円 (静内と門別富川の区域は、市外通話料)